

令和6年度第3回ちがさき自転車プラン推進委員会 会議録

議題	<p><協議事項></p> <p>(1) 第3次ちがさき自転車プラン(自転車活用推進計画)の素案(案)について</p>
日時	令和6年11月27日(水) 15時45分から16時20分まで
場所	茅ヶ崎市役所 分庁舎5階 会議室A・B
出席者名	<p>委員：西脇 毅、猶野 秀子、益田 和子、鈴木 健司、関本 敏明、阿部 敏廣、田中 晴男、福田 三朗、杉本 裕介、松本 修一、古倉 宗治(欠席)</p> <p>新谷 雅之、平本 善昭、船津 憲幸、朝倉 利之、佐藤 たゑ子、佐々木 睦子、細井 年春、長谷川 裕、国分 宏樹、小林 将人</p> <p>(事務局)</p> <p>都市部都市政策課、くらし安心部安全対策課</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 配席表 ・ 資料1 第3次ちがさき自転車プラン(自転車活用推進計画)素案(案) ・ 資料2 8月7日委員会意見と反映方針 ・ 資料3 概要版_第3次ちがさき自転車プラン(自転車活用推進計画)素案(案)
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	0名

(会議の概要)

1. 開会

- 高山課長 令和6年度第3回ちがさき自転車プラン推進委員会を開催いたします。
本会議は委員21名のうち、11名にご出席いただいております。よって、会議開催に必要な過半数の定数を満たすため、会議を開催いたします。
本会議は、原則公開となっておりますが、本日は傍聴の申し出はございませんので、このまま会議を進めさせていただきます。
それでは松本委員長、進行をお願いいたします。

2. 協議事項について

- 松本委員長 こんにちは。今日も皆様のご協力のもとに進めてまいりますのでよろしく
お願いいたします。
それでは、議事に従いまして、議題1「第3次ちがさき自転車プランの素案(案)について」に移ります。
本日の委員会が、こちらの議題について議論する最後の機会になりますので、皆様からお気づきになった点やご意見をいただきそれに対して委員会としての考えをまとめていければと考えています。
前回の委員会を踏まえ素案をまとめたということですが、前回見ていただ
いていますが、せっかくの機会なので、事前説明やその他、予習してきたことなども踏まえて、何かお気づきの点やご意見がいただければ、よりよいものになると思いますので、皆様から何かご意見がありますでしょうか。
- 西脇委員 こちらの資料を拝見したところ、ページ17の2行目のところに33.7%で
その下に※があり、この※が何を意味しているのか分かりづらかったのかな
というのがありました。他のページを確認していませんが、同じようなと
ころがあるのではないかと思いますので、指摘させていただきます。以上です。
- 事務局 ありがとうございます。こちら※を付けている意図といたしましては下の
欄外の部分に、こちらの注釈に引っ張っていく部分については※という形で
させていただいているものになります。
この17ページのところでご指摘いただいた部分については※の位置が分
かりづらいという形ですので、文面のスペースを調整しましてこの33.7%
の後ろに※が来るような形に修正させていただきますので、よろしく願い
します。
- 松本委員長 注釈だっということでしたら、注1とかって()して入れるとか。注釈って
いう言葉を入れたほうが多分皆さんわかりやすいと思います。※が必ずしも
注釈だっというのは、直感的に分からないのでよろしかったらその方がいい
のかなと思ったのでコメントしておきます。
- 福田委員 ミヤタサイクルの福田です。11ページのところのイラストですが、イラスト
なので、あまりリアルなものを求めてもいけないのかもしれない。もしか
したら前にも議論になったのかもしれないですが、茅ヶ崎のモニュメントだ

ったり、烏帽子岩だったりってところが、多分この額から見ると向きとか逆なんじゃないのかなってところがちょっと気になったところ。あくまでイラストなので、どこまでリアルを求めるかっていうところだと思うんですけど。でも、茅ヶ崎の象徴的なところではあるので、そこをどこまでリアル、あくまでイメージということで、これは直してくださいってということではなく、ちょっとそこが気になりましたってということだけです。

あともう1点、これは誤植だと思いますが、66ページBMXの内藤寧々選手が紹介されていると思いますが、BMX紹介の後にBMXフリースタイルのパークではなくパークなので。

そこの2点だけ気になりました。以上です。

○事務局

ありがとうございます。

66ページについては、申し訳ございません。誤植なので、修正させていただきます。

イラストに関しましては正確にいくと裏側からという形にはなると思いますが、市民の方がパッと見ていただいたときに、イメージしやすさという形では今の形の方がわかりやすいのかなというところで、現状のままいかしていただければと考えております。

○松本委員長

確かに茅ヶ崎のCがCに見えなかったら、あれとかって思われますもんね。何かその他ございますでしょうか。

○益田委員

ちがさき自転車プラン・アクション22の益田です。いくつかあるので、1つずつお話して構わないでしょうか。

まず簡単なところから、私もイラストで一番気になったことが一つ大きなところがあります。24ページにすべてのイラストが入りました。26ページ方向性|おもいやりの心づくりのところで歩道を歩いている大人と子どもがいますが、子どもは内側に書いていただけると嬉しいです。もう見た瞬間子どもに外側は大人は歩かせないと思います。構図上多分小さい子が外側に来たのかなと思いますが、できれば反対にしてもらえば嬉しいと思います。

それからレイアウトで、01、1ページから茅ヶ崎の写真が入りますが、もう少し大きくてもいいかと思います。かなり大きくしていただいた方が当時の自転車に乗っている姿もよく分かると思う。紙面が空いてるのでできれば大きくしてもらいたいと思いました。

それからすべてのイラストで、皆さんヘルメットをかぶっているんですけども、自転車を置ける時にはヘルメットをしてないって感じなんですけど、もう表紙のところから、している人としていない人がいます。それから、裏表紙ですが自転車には乗ってはいないですが、乗ってはいないのでヘルメットをしてない部分もありますが、今は降りているかもしれないけど、必ず乗るのかと思うので。勘違いされないって言い方もおかしいですけど、目指す方向性としては、すべての人がヘルメットをして欲しいという思いであれば、みんなヘルメットしててもいいのかと思いました。

それから最後の推進体制ですが、これは私が前回の委員会で話をさせていただいて、このような形で市民団体というところを入れていただきました。推進体制の文面は変わっていないのですが、本文自体に市と事業者や市民が協働してという言葉がずっと出てきています。この中には協働という言葉が一つもありません。前回のプランの時も、「市民・市民団体、事業者が協働・連携をしながら」というようなところで、連携と協働を並列して考えて協働という言葉を入れていました。この推進体制も本文の方は協働するとずっとなっているので、協働という言葉が入ったほうがいいのかと思いました。

それから一番下の図ですが、黒ポチの2番目に「ちがさき自転車プラン推進委員会を継続して開催し、計画の取り組みや施策の見直し等を行っていきます」と書いているので、その相互通行を下の矢印にはそういう文言が入っているのかなと思いました。

良くないとか言っているのではなく、変えていただいたことはとても嬉しく思っています。さらにそうなるといいのかなと考えました。

○松本委員長

ありがとうございます。

茅ヶ崎は自転車の模範的な土地とみんなから見られているので、どこまでやれるか。市役所さん、お願いします。

○事務局

ご意見ありがとうございます。イラストの変更の部分については、イラストレーターと相談して、まだ直せるかどうか時期的なところも含めて、相談させていただいて対応させていただければと思っております。

あと、それぞれのセクションの写真の大きさについては、全体のバランス見ながら、できるだけ大きくという形で対応できればと思っております。

市民団体の連携・協働という部分については、72ページの推進体制の黒ポチ1つ目で「市民・市民団体、事業者、市が連携を図りながら」という部分を「連携・協働を図りながら」という形で協働という言葉を入れていく形で、下の推進体制の円になっただけの部分についても連携だけではなく、協働という言葉も入れながら、修正をしていくような形でよろしいでしょうか。

あと、黒ポチ二つ目の言葉を、下の表にもということではありますが、その推進委員会との関係の部分になりますが、最終的にその計画の取り組み施策の見直しを実際に行うのは市で、それに対して実際にやったことを評価して進捗の確認などをして意見する立場というのが推進委員会であるという形で、この矢印の中には今見直しという言葉は入れてない状況になっております。

この3つ市民・市民団体の役割、事業者の役割、市の役割として書かせていただいているこの市の役割の中で、その施策の見直しであるとかそういった文言を受けていくような形で修正をできればと考えておりますが、いかがでしょうか。

○益田委員

すみません、よく分からなくて。「ちがさき自転車プラン推進委員会を継

続して開催し、計画の取り組みや施策の見直し等を行っていきます」と書いてあるのは、どう読みとればよろしいのでしょうか。

○事務局 自転車プラン推進委員会を開催させていただきまして、毎年の取り組み、その進捗であるとか、そういった部分の報告をさせていただきながら、それに対する評価や意見を推進委員会からいただくという形になってまいります。それを受けて市の方が、市の中で実際の具体的な施策の見直しであるとか、そういったことを行っていくという形の流れです。

○古倉副委員長 今のお話、非常にいい指摘だと思いますが、もし分かりやすくするとすれば、ここに「開催し、その結果を受けて、計画の取り組みや施策の見直し」つまり開催して色々言うのは、委員会ですが、それはいわば第三者的に意見を述べて、そのご意見なりを受けて、市として計画の取り組み、施策の見直しを行っているというような分かりやすい一言を入れられると、今の誤解が解消できるのかなと思います。以上です。

○事務局 ありがとうございます。上段の黒ポチの二つ目の部分の文面を修正する形で対応させていただければと思います。

○益田委員 ごめんなさい。ちがさき自転車プラン推進委員会は、もう実施状況の報告を受けて進捗状況の確認をして評価するだけの委員会と説明を受け取ればよろしいですか。

○事務局 その内容によって評価と、提案であるとか意見という形で市に対してしていただいて、それを受けて市が実際に具体的に何をやる、変えるのかというところをやっていくという形になります。

○益田委員 この中でも協議ができるということですよ。分かりました。ありがとうございます。

○猶野委員 自転車を乗るときにヘルメットをかぶるのは努力義務ですし、そうすべきものだと思うんですが、シェアサイクルを使った場合はどうなんですか。

○事務局 事業者によって対応が分かれているというところは伺っております。レンタサイクル事業者・シェアサイクル事業者がヘルメットを直接貸し出している事業所もあれば、利用される方が持ってきてくださいという運用をしている事業者もございます。シェアサイクル事業でのヘルメットの貸し出しに関しては、利用者の声として誰がかぶったか分からないヘルメットをかぶることへの抵抗感というのがあるというのも報道等でも出ておりますので、その辺りは様々な各事業者の判断で行われてるような状況となっております。

○古倉副委員長 先ほどの協働という漢字はどちらの方にしますか。つまり「共」にか、それとも協力するの「協」ですか。考え方によると思いますが、その選択される場合に、どちらにされるか。私も広辞苑を見て正確に申し上げているわけじゃないですが、「協」はどちらと言うと主体が市で、それに対して協力するというそういう感じ。「共働」の方は対等に、市民と一緒にやると。そういう感じがしますので、今回市民を主体的に持ち上げるということであれば、どちらかと言うと「協力」じゃなくてもう一つの「共働」の方が、この前後

の文面から言うと当たっているという感じはします。それは少し広辞苑など引かれて検討していただければいいのかなと思います。別にどちらでも、ただ市民を主体的に前面に出すとすると、やっぱり市がやるのにその協力をしていくというニュアンスじゃなくて、市民も市もやっぱりお互い主体的に頑張っていくとこういう感じで出すとすると、やっぱり「協」じゃなくて、「共働」という方が、当たってるような気がします。これはご判断にもよりますので、必ずしもこうだと決めつけるわけにはいかないと思いますけど。その辺ご検討いただければいいのかなと思います。

○事務局

ありがとうございます。市の活動の中で、例えば自治会であるとか様々な団体と協働という言葉を使うときに、茅ヶ崎市でこの協力の「協」を使うことが多くて、今感覚的にはそちらの言葉なのかなというところで思い込んでた部分もありますが、一度言葉の方検討させていただいて。どちらで書いていくかを決めていければと思います。

○福田委員

先ほどヘルメットのイラストの話があったので気になったんですが、37ページの3つあるうちの右上のイラストが、ヘルメットをかぶっているのかどうなのかが分かりにくいと感じたので一応念のため。まずいだろうと先ほどそういうご意見がありましたので。

○事務局

わかりやすい絵になるように、調整させていただきます。

○古倉副委員長

表現についてが1点、あと質問といいますか今後どうされるかというのを聞きたいのが2点です。

1点は、イントロダクションの3枚目「自転車に乗ってこんなにいい」のところの右側の方に、「早く移動できる」と書いてありますが、確かに早くは間違いないと思いますが、私はいつもこの表を使いながら説明する時に気にしているのは、いわゆる早く着くというか早く移動するというニュアンスの中に早く着いてしまう感じがありまして。この下の方に移動距離(km)と書いた下の四角に、入出庫の時間というのが計算の中に入っています。

本当は車の方が早く着いていますが、車の方が入出庫に手間取って結果的に、トータルとして時間がかかるとこういう話がある。いつも表現をどうするかは、私も大分、表を説明する時に困っている部分がありますが、実は一番わかりやすいのは、ここの自転車のこのグラフの中に「自転車の所要時間が最も短い」と書いてあります。その表現を引用されて「早く移動できる」表題はこれでいいと思いますが、例えば「効率的にできる5km以内の移動では、最も所要時間が短く移動できる」とか、そういうように書かれると誤解がよりなくなるという感じはします。それは、もしご検討いただけるならばその修正を考えていただいたらいいなど。いつも私もこのグラフの説明をする時、いつも所要時間という言葉を使っていて。細かいところで恐縮なんですけど、早く移動できると言って早く着いてしまうというニュアンスが出てしまうと、どちらも車の方が早く着いていますが、結局その車庫入れに時間かかって結果的には、うさぎとかめの関係じゃないですけど、かめの方が所要

時間が短かったとこういう感じになりますので。その辺少しニュアンスですよ。

それが1点と、あと、もし例えば記者発表なさるときに、計画の売りをどういうふうに表現するかというその辺を考えながら、市長さんが議会で説明される時も売りっていうのは何かやはり意識して考えておいた方がいいのかと思います。その売りっていうのは、例えば、私は他の色々な計画を見ている関係で、気のついた点を申し上げますと、「目指すまちの姿」こういうのを出力していただいているって、こういう自転車計画はないです。つまり、やたらと目標値を設定して、それに一目散に行くというような、あるいは例えばネットワークの延長が何kmとか、そうじゃなくて「目指すまちの姿」をまず描いて、それでそのために色々なまちの姿ですから自転車もあるし、それからそれを使う自転車利用者もあるし、事業者、色々な方々がこれに共働して参加して、それでこれを作り上げていくという「まちの姿」を描いているっていうのは、非常にいい計画だなと思います。最初に計画による自転車の姿を描いているのがユニークです。自転車の目標値というのは、書いてるところが多いので、非常にそういう点ではいいのかなと思うのが1点です。

それから細かいところで恐縮ですが、SDGsの説明も、他の計画でも単に表、図をパパッと書いてそれで終わりっていうのは結構多いですから丁寧に説明さしていただいているかなというので非常にいい、これは別にそんな特徴にならないかもしれません。

あと、2番目の大きな特徴は前プランの評価をしているのが、これは資料編でもいいんですが、これが入っているというのは、やっぱりなかなかその前プランが結構うまくいっていない計画が多いですから、あまり書きたがらないんですけど、しっかり書いていただいているっていうのがやっぱり自らこういう評価をした上で今後こうやっていくという課題を設定する意味で非常にいい、細かいからもう少し大きく、もっと広げるともっといいのかなと思いますけど、いずれにしろ過去のことをちゃんと踏まえながら課題を設定していただいて、よりバージョンアップしていい方向に持っていきたいんだとこういうふうに表現しているの、分かりやすいいい計画だなと思います。

それから3点目が、まさに今の議論ありました市民の主体的な参加といえますか。やっぱり行政がこれだけやるからあとは市民皆さん勝手についてこいという感じの計画が結構多いんです。そうじゃなくて、私が前に申し上げた通り自転車というのは、市民とか事業者、市の中にいる方、あるいはやってこられる方が自転車を利用していただいて初めてこの計画の実効性が出てくるということです。それを主体として書いておられるっていうのは非常にいい計画なんですから、もし売りを言われるとすれば、やっぱり将来の姿を描いているということ、それから前プランをしっかり復習して新しいものに仕上げる、それから市民の主体的な参加を呼びかけると、こういうふ

うなことが売りの3つかなと。

他にも、そちらの方で考えられる売りがあるかと思いますが、それはお考えいただいて、私の方は他を見てるとそういう感じが非常にしますので、参考にしていただけたらいいなと思います。

ただ1点だけ分からなかったのが、目指すまちの姿ってというのは、10年後の姿っていうことでいいんですね。あるいはそれよりもっと将来的な姿なのかどうかというその辺がもし説明される時はどの辺を描いておられるのかっていう。その辺は考えておいた方がいいのかなと思いました。

特徴が3つあると非常にいい計画だと思います。ぜひ、胸を張って進めていただきたいと思います。以上です。

○松本委員長

ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

○杉本委員

神奈川中央交通の杉本です。今のご説明の中で気づいたのですが、76ページ「前プランの評価と改定に向けた課題と方針」の一番下のところで、公共交通機関との連携で、自転車の持ち込みの普及という項目がありますが、右側の「平成26から27年度に自転車バスラックを運行したが」ってなっていますが、「自転車ラックバス」と表記を弊社もさせていただいてるので、直していただけるとありがたいです。以上です

○松本委員長

ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。

本日いただいた意見を踏まえて、事務局の方で対応や内容の精査をいただいて、委員長である私と事務局で調整し、第3次ちがさき自転車プランの素案の答申としてまとめさせていただければと考えていますがよろしいでしょうか。

【異議なし】

○松本委員長

では、皆さんの意見を踏まえ、整理し答申として出したいと思います。ありがとうございます。

最後に全体を通じて何かご意見等ございますでしょうか。よろしいですかね。

ではその他ご意見がないようでしたら最後に事務局よりお知らせをお願いします。

○事務局

事務局より2点ほどございます。

まず1点目につきましては議事録についてとなります。本日の会議の内容につきましては会議終了後に事務局から出席されている委員全員に対して、議事録の確認依頼を行います。修正等の意見がありましたらその期間中に事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

2点目としましては今後のスケジュールになります。委員会から答申をいただいた後、こちらのプランにつきましては庁内手続きを進めまして、2月に市民の皆様からご意見を募集するパブリックコメントの実施を予定しています。委員会につきましては、次回は3月に開催し、パブリックコメントのご報告などを考えております。また詳細が決まりましたら改めて通知等をお

送りさせていただきます。

本日の議論を踏まえまして、プランの策定を進めていきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○松本委員長

それでは本日の会議は以上になります。ありがとうございました。